

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

|  |                      |
|--|----------------------|
| 名称：<br>特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター                 | 所在地：<br>長野市南高田2-5-16 |
| 評価実施期間：<br>平成27年10月31日から平成28年2月22日             |                      |
| 評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載）<br>60661 60963 B15020 |                      |

### 2 福祉サービス事業者情報（平成27年1月現在）

|  |   |
|--|---|
| 事業所名：<br>（施設名） ショートステイひまわりの家                 | 種別： 短期入所生活介護  |
| 代表者氏名： 理事長 林 芳久<br>（管理者氏名） 施設長 小林房美          | 定員（利用人数）： 25（25）名   |
| 設置主体：社会医療法人南信勤労者医療協会<br>経営主体：社会医療法人南信勤労者医療協会 | 開設（指定）年月日：<br>平成20年 8月 1日   |
| 所在地：〒393-0047<br>長野県諏訪郡下諏訪町西赤砂4429-30        |   |
| 電話番号：0266-26-2127                            | FAX番号：0266-26-2135  |
| ホームページアドレス：                                  |   |
| 職員数  | 常勤職員： 15名<br>非常勤職員 5名   |
| 専門職員   | （専門職の名称） 名<br>作業療法士 1名  |
|  | 医師・歯科医師 1名<br>管理栄養士 1名  |
|  | 看護師・准看護師 2名   |
|  | 介護福祉士 7名  |
| 施設・設備の概要                                     | （居室数）<br>19室<br>（設備等）<br>食堂、一般浴室、特殊浴室、食堂兼ホール、相談室、会議室、送迎車、自動火災報知設備、スプリンクラー設備、消火器、非常放送設備、誘導灯、非常照明 |

### 3 理念・基本方針

|  |
|--|
| <p>民医連綱領を基本にして方針が立てられている。<br/>綱領より</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人権を尊重し、協働の営みとしての医療と介護・福祉をすすめ、人々の命と健康を守ります。</li><li>・地域・職域の人々と共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりを進めます。</li><li>・学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します。</li><li>・科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護、福祉従業者の生活の向上と権利の確立を目指します。</li><li>・創立40周年記念で「生命(いのち)の平等貫いて」～今でも これからも～ をキ</li></ul> |
|--|

マッチフレーズとして掲げ諏訪共立病院の理念を統一理念としている。

・患者さん・利用者さんの立場に立って、だれもが、いつでも、安心して受けられる医療・介護・福祉を目指します。

#### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

諏訪共立病院を母体とした社会医療法人南信勤労者医療協会としての組織である。2014年度の組織整備の中で、諏訪共立病院事業部、地域在宅事業部、ケアセンター赤砂事業部として分割再編された。3部門にしたことにより、組織管理が容易になり、各部門での管理会議による事業検討がきめ細かくできるようになった。

法人は健康クラブ泉の会会員による共同組織で構成され、2014年度末で8,834人の会員を有している。職員と会員とのつながりは密に行われており、医療・介護にかかわる相談、要望、意見又地域の情報を聴取して活動に生かしている。

ケアセンター赤砂事業部は、老健すずかぜ、すずかぜ通所り八、小規模多機能ケアぬくもり、ショートステイひまわりの家の4事業所で構成されている。

#### 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）

1回（今回が初めての受審）

#### 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

##### 1．組織的な安定した取り組み

- ・南信勤労者医療協会の理念に沿った、取り組みがされている。
- ・老人保健施設の建物に4事業所が包括されており多職種の職員間の連携が取れている。
- ・諏訪共立病院という医療が中心にあり、各事業所の連携もとれているため利用者は安心してサービスを受けることができる。
- ・個人のデータは電子カルテで管理されており、セキュリティはしっかりしている。
- ・活動及び事業内容によって、細かく委員会の設置がされており意見、要望、改善点などひろく吸い上げることのできる仕組みがある。
- ・現場の職員は自己目標を掲げて意欲的に取り組んでいる様子が感じられる。

##### 2．災害種別に応じた訓練や研修の取り組みと地域（会員）とのつながり

- ・施設では、水害、地震 地域の災害避難所として機能できるような取り組みを始めています。災害用備品の整備がされている。
- ・災害時の対策として、全職員に同時伝達できる仕組みがある。
- ・地域と連携して地域災害救助隊の編成が検討されている。
- ・祭への参加などして地域との交流は深く信頼も厚い。
- ・組織化されている各種会員の会で事業の内容が伝達され協力が得られている。
- ・他団体との連携による事業で(地域福祉なんでも相談)地域貢献を行い情報の収集、意見交換の場が充実している。

特に改善する必要があると思う点

- ・法令順守シートを活用した取り組みはあるが社会的信用と、不祥事、事故防止のためにも職員倫理を含めてコンプライアンスマニュアルにまとめ、職員研修の実施が望まれる。
- ・社会福祉事業者に示されている「苦情解決の指針」を参考にした仕組み作りに期待します。苦情解決利用者へ第三者委員（例：弁護士、監事、民生委員など）の氏名・連絡先の周知や、苦情解決責任者による定期的な第三者委員への報告などの仕組み作りです。

7 事業評価の結果（詳細）と講評  
評価対象 福祉サービスの基本方針と組織及び評価対象 組織の運営管理(別添 1.)  
評価対象 適切な福祉サービスの実施(別添 2)

8 利用者調査の結果  
長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要領第 2 条第 1 項の規定により有効回答者数が 10 人未満のため、非公開とします。

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント  
(平成 28 年 2 月 18 日記載)

1. 理念基本方針

法人や事業所の方針が、十分に職員に浸透していなかった面もあり、これまでの周知の仕方を見直すこととなりました。さらに利用者、家族や地域の方への周知はさらなる改善が求められることを認識しました。

2. 管理のリーダーシップ

管理部や役職者が現場に入らざるを得ない状況の中、職員への教育が不十分というだけでなく、管理自身の知識力量の向上が必要と感じました。

3. 人材の養成

施設の中心的課題と言えます。育成面接と人事考課などの取り組みが、より明確に今後の方向性に反映できよう改善したいと思います。

4. 安全管理

家族への連絡システム、安否確認方法はご指摘のように改善を進めております。

5. 苦情解決

苦情相談窓口、苦情解決方法の職員の理解が行き届いていないことが明らかになりました。職員並びにご利用者、ご家族、関係機関への苦情解決方法の周知を徹底していきます。

6. 内部監査

サービス質の向上に繋がる、内部監査のシステムを構築していきます。

(感想)

業務全般から職員一人一人に渡るまで広くご指摘頂けて、大変勉強になりました。業務基準や内容、サービス内容など再度見直そうと思っております。